

ネットワークの中核を担う NWEC

リレーエッセイ第9回は、国立女性教育会館（NWEC）の地域、そして地域を含む分野横断的な連携・ネットワークづくりを目指した取組についてご紹介します。

1999年に施行された男女共同参画社会基本法には、その前文に「少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化等我が国の社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、緊要な課題となっている」と書かれています。そして、国や地方公共団体の責務とともに、国民の責務として「国民は、職域、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野において、基本理念にのっとり、男女共同参画社会の形成に寄与するように努めなければならない」と規定しています。

このように、社会のあらゆる分野で求められている男女共同参画の推進ですが、特に国民一人ひとりの生活に直結する地域における男女共同参画の推進は、非常に重要です。例えば、各地方公共団体の議会運営、まちづくりや防災計画、町内会の役割分担などにおいて、多様な住民の意見を反映させるためには、とすれば男性に偏りがちな様々な意思決定の場面に女性の意見を反映できるように、現状を把握し、問題があれば今あるしくみを見直していく必要があります。

内閣府が実施した「令和元年男女共同参画社会に関する世論調査」において、男女の地位は平等になっているか聞いたところ、社会全体でみた場合には、「平等」と答えた者の割合が21.2%、「男性の方が優遇されている」とする者の割合が74.1%（「男性の方が非常に優遇されている」11.3%+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」62.8%）でした。各分野については、「平等」と答えた者の割合が、「学校教育の場」で61.2%、「自治会やPTAなどの地域活動の場」で46.5%、「家庭生活」で45.5%、「法律や制度の上」で39.7%、「職場」で30.7%、「社会通念・慣習・しきたりなど」で22.6%、「政治の場」で14.4%でした。これを見ても、社会全体では男性が優遇されており、特に社会通念・慣習・しきたりにおいて男女の地位が平等ではないと考える人が多いことがわかります。

「消滅可能性都市」という言葉をご存知でしょうか。2014年頃、ネットや新聞、テレビで盛んに取り上げられました。民間の有識者からなる日本創成会議によると、人口流出や人口減少により「2010年から2040年にかけて、20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村」として、全国の市区町村1,799のうち約半数の896が該当すると推計されています。少子化による若年女性の人口減少だけでなく、近年、大都市圏への人口流出が顕著となっているのです。

特に地方においては、地域に強く残る男尊女卑的な考え方や固定的性別役割分担意識により、仕事の採用や昇進、収入において男女格差が大きく、若年女性が自分らしく、個性や能力を発揮できる生き方や職業を自由に選択できる状況にありません。そのため進学や就職の際に大都市圏へ転出し、そのまま戻ってこない状況があり、少子化や人口減少に拍車がかかっています。

このような状況の中で、地域の男女共同参画や女性活躍の推進は、主に地方公共団体による施策や男女共同参画センター・女性センターなどの女性関連施設、女性団体やNPO法人等の活動をとおして行われています。その取組を支援するため、NVECでは、地方公共団体や女性関連施設の職員や団体のリーダーを対象に、専門的知見やネットワークの活用能力等の向上を目指した「地域における男女共同参画推進リーダー研修」を実施しています。地域住民の意識改革や制度、慣習を見直すため、男女共同参画の推進に必要な知識について、国内外を問わず幅広い視点から情報を提供するとともに、地域が抱える課題を整理し、課題解決に向けてどのような取組が必要か様々な角度から検討する機会を提供しています。



「地域における男女共同参画推進リーダー研修」の参加者

今年度は昨年度に引き続きオンラインにより、5月19日（水）～6月11日（金）の期間、「これからの男女共同参画 ～第5次基本計画の考え方と地域課題への取組に向けて～」のテーマで実施し、全国から約500名の方が視聴しました。

とはいえ、地域の男女共同参画における課題解決は、地方公共団体や女性関連施設、団体のみでの取組だけでは実現は難しく、同時に多くの関係機関との連携が必要となってきます。そのため、NVECでは、これら3者以外に、学校、大学、企業等との連携を進め、分野を超えたネットワークづくりを目指した取組として、毎年「男女共同参画推進フォーラム」を開催しています。

12月1日（水）～12月21日（火）の期間、昨年に引き続き今年度もオンラインで開催します。「ジェンダー平等を実現する」をテーマに、NVECのホームページ上の特設サイトにおいて、中満 泉 国際連合事務次長・軍縮問題担当上級代表による基調講演「危機の時代のジェンダー平等」や鼎談「社会を変えるージェンダー平等の「壁」を乗り越えるために必要なこと」、その他全国各地の団体によるワークショップやパネル展示を実施します。どなたでも参加できますので、この機会に、ぜひ、ご視聴ください。事業の詳細はホームページをご覧ください。

（島田 悦子／独立行政法人国立女性教育会館 事業課主任専門職員）

令和3年度「男女共同参画推進フォーラム」



参加費 **無料**

オンライン
開催

NVECフォーラム2021

ジェンダー平等を実現しよう

令和3年 **12月1日水 9:00 ▶ 21日火 17:00**

プレオープン ▶ **令和3年11月24日水 9:00～**

開催期間中にNVECホームページ
(https://www.nvec.jp/event/training/g_forum2021.html)から
「男女共同参画推進フォーラム(特設サイト)」にアクセス
*「男女共同参画推進フォーラム(特設サイト)」の閲覧には、参加登録が必要です。

NVECフォーラム

